

施設長 各位

那覇市医師会  
会 長 山城千秋  
担当理事 宮城政剛



「新型コロナウイルス感染症」関連資料の提供について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所・仲宗根所長より「沖縄県疫学・統計解析委員会」からの報告事項をご提供いただきましたので下段にてご報告致します。

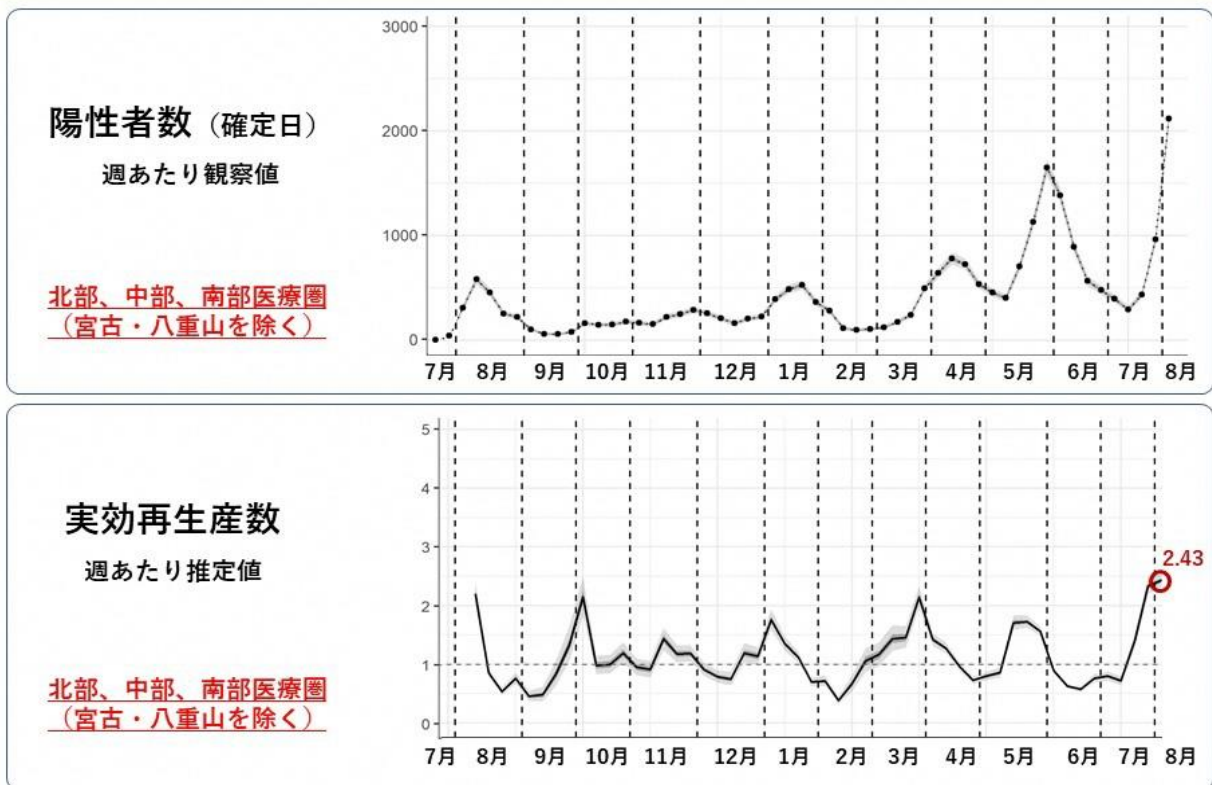
☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：前泊・上原 / 電話 098-868-7579）

.....記.....  
◎ 沖縄県疫学・統計解析委員会から【現状】と【推定】と【解説】をいただきましたので、ご報告致します。（取扱注意でお願いいたします。） 【那覇市保健所 所長 仲宗根 正】

【現状】

沖縄県における先週（8月2日-8日）の新規陽性者数は、3,712人（前週 2,461人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は1.52（95%CrI:1.47, 1.57）であり、前週の2.62から勢いを落としています、感染拡大が続いています（図1）。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

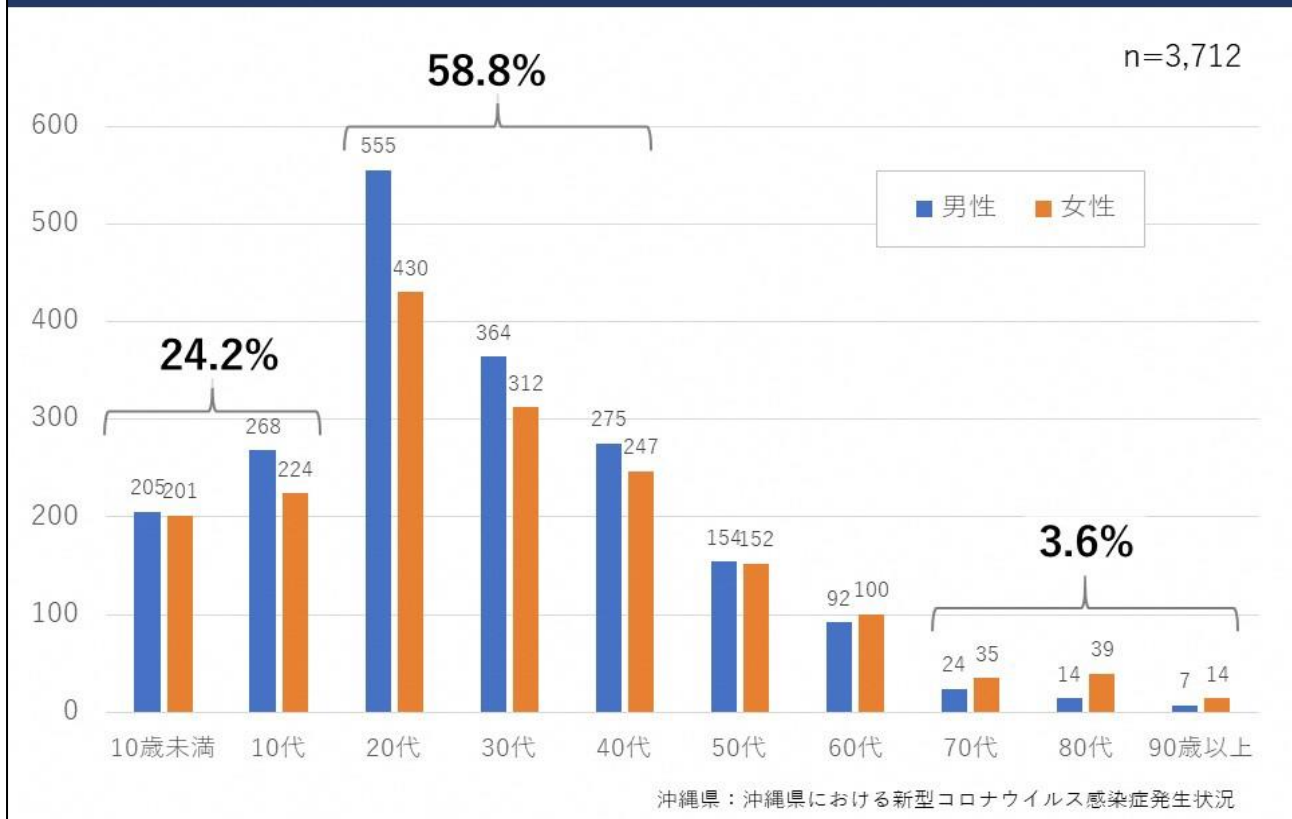


年代別では、20代が985人（27%）と最多であり、30代 676人（18%）が続きます。もっとも増加していたのは、10歳未満で先週比 2.24倍と最大でした（図2）。

小児における感染拡大が著明であり、小児への感染性を高めたデルタ株への置き換わりが背景にあると考えられます。

園児、生徒、学生の感染事例が、全体の17%を占めています。内訳は、保育園・幼稚園児 63人（前週26人）、小学生 257人（前週143人）、中学生 104人（前週79人）、高校生 118人（前週49人）、大学生 39人（前週27人）、専門学校生 36人（前週33人）でした。小学生の増加が顕著です。夏休みになっていますが、主たる感染は家庭内で生じています。また、学童クラブでの感染事例も散見されます。

図2 沖縄県における性年齢階級別症例数（8月2日～8日）



疫学調査で明らかにできた範囲において、職業別で最多だったのは飲食店従業員 193人（5%）でした。このうち接待を伴う飲食店の従業員が14人ですが、宮古島市など離島で確認されています。次いで、建設業従事者 161人（4%）、小売店従業員 94人（3%）、医療従事者 75人（2%）、観光従事者 72人（2%）と続きます。とくにホテル従業員の感染事例が、7月19日の週7人、26日の週24人、先週48人と増加が続いています。感染対策を再確認するとともに、スタッフへのワクチン接種を進めてください。

65歳以上の高齢者は206人（6%）であり、前週の172人より増加していますが、全体に占める割合は低下しています。また、このうち37人は同一の医療機関における院内感染であり、高齢者の市中感染が広がっている印象はありません。ただし、施設入所者13人、デイ利用者4人の感染が確認され、とくにワクチン接種が完了していない介護施設では感染対策の徹底をお願いします。

医療圏別では、北部145人（前週80人）、中部1557人（前週1049人）、那覇市918人（前週618人）、南部893人（前週622人）、宮古89人（前週38人）、八重山73人（前週26人）でした。全県的に拡大していますが、とくに北部、宮古、八重山で加速しています。なお、宮古医療圏の実効再生産数(R)は2.29（95%CrI:1.83, 2.81）であり、八重山医療圏は2.67（95%CrI:2.03, 3.40）でした。

疫学調査で明らかにできた範囲において、渡航関連での感染者は52人（1.4%）でした。内訳は、県外へ渡航した県民が16人、県外からの渡航者36人です。本土での流行を受けて増加しています。帰省、出張、観光を含めて、不要不急の渡航は原則として延期いただくようお願いします。

市町村別では、那覇市917人（前週618人）、沖縄市534人（前週317人）、うるま市467人（前週360人）、浦添市310人（前週189人）、宜野湾市215人（前週160人）でした。先週に引き続き、都市部での感染拡大が顕著ですが、とくに急速な増加を認めたのは、本部町（4.6倍）、金武町（3.3倍）、石垣市（2.5倍）、宜野座村（2.5倍）、宮古島市（2.3倍）でした。

入院患者数は、先週末（8月8日）が618人（8月1日 526人）と過去最多となっています。酸素投与など中等症患者 486人（8月1日 340人）に至っており、入院患者に占める割合は65%から79%に増加しました。入院の判断が厳しくなっています。また、気管挿管など重症患者 15人（8月1日 6人）と急速に増加しています。重症者の医療提供も厳しくなっています。

沖縄県内で流行しているウイルスは、デルタ株へと置き換わりが進んでいます。先週、754検体について変異株（L452R）PCRを実施したところ、595検体（78.9%）において陽性を確認しました。沖縄県では、ほぼインド由来のデルタ株への置き換わりが終わったと考えられます。

### 【推定】

沖縄県内では、感染拡大が続いています。一部地域で外来や検査の応需体制が限界となっており、とくに接触者スクリーニングが従来のように行えていません。軽症者のPCR検査は数日待ちとなっています。実効再生産数が1.52と低下してきたように見えますが、実態を反映しきれていないと考えられます。

急速な感染拡大が始まってから（7月27日に過去最多の354人）2週間が経過しました。これまで、流行を抑え込むだけの施策はとられていませんが、社会的な緊張感による抑止効果が現れる時期となります。よって、今週の新規陽性者数は、3,500-5,000人になるものと推定します。

入院患者数については、今週末までに800-900人へと増加します。ただし、病床確保が限界を迎えるため、実際には、200人程度が自宅や施設での療養を余儀なくされます。中等症以上の患者についても、これまでは、おおむね入院で対応することが可能でしたが、今週より困難となってきました。気管挿管等が行われる重症患者数も増加が続き、今週末には25-35人に至ると推定します（図7）。

## 図7 今後1週間（8月9日-8月15日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
年齢群別重症化率； 厚生労働省  
平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数*			重症患者数*		
	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0
北部	140	282	568	57	66	80	0.5	0.8	1.2
中部	1520	3061	6164	333	456	660	12.3	17.3	25.8
那覇市	854	1720	3463	208	272	380	12.0	14.5	18.7
南部	883	1778	3581	175	232	328	5.0	7.2	10.8
宮古	87	175	353	16	21	28	0.1	0.2	0.3
八重山	62	125	251	16	20	26	0.2	0.3	0.5
合計	3546	7141	14380	805	1066	1502	30	40	57

※ 8月15日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会